

目 標

地域の森林整備と地域材・CLT利用の推進を図る。

取組内容

【地域の森林整備の推進】

地域の森林整備の推進に向け、後志総合振興局と連携し、市町村林務担当者へ「山の見方」等について技術支援する「ドローン活用技術研修会」を実施。管内の市町村・森林組合・林業事業者等から40名が参加し、当署職員や後志総合振興局森林室職員が講師となり、当署会議室において森林現況を把握するための3D画像化・オルソ化の技術や活用方法等について説明後、現地においてドローン操作実習を行った。



【地域材・CLT利用の推進】

地域材・CLT利用の推進を図るため、以下の取組を実施。

1. 倶知安新幹線駅舎等へ地域材の利用推進

地域材使用への理解を進めるため、年度当初から地域の木材関係者や町長と面談を実施。また、函館地区国有林野等所在市町村長有志協議会において、当署の取組について説明

2. CLTを使用した森林事務所の新築

現在、CLTを使用した建替を森林管理局を通じ、国土交通省へ申請中。また、函館地区国有林野等所在市町村長有志協議会において、CLT工法のメリット「施工が早い」、「コンクリートより軽い」、「内部は温かい」等をPR

3. 地域のダケカンバのバット材への利用検証

喜茂別町長にダケカンバのバット材への活用について情報提供。今後、林産試験場等と連携し、強度検証や資源調査など地域材の利用推進に向けた方策を検討

結果

研修会参加者からは、「思ったより操作は難しくなかった。」「森林整備事業の調査・計画作成に活用できるのではないか」との声もあり、効率的な森林整備のため市町村や事業者がドローンを活用するきっかけとなった。

市町村等に地域材の利用を促すことで、SDGSの目標でもある持続可能な森林経営の基盤の確立、地域活性化に繋がることを提言し理解を深めた。

今年度の総括 次年度の予定

- ・研修を通じて最新技術の活用方法、ドローン操作を学んだことにより、地域の森林整備推進に向け、担当者が森林現況を把握する一助となった。
- ・ニーズを踏まえた研修会や技術講習会等を引き続き開催することにより、市町村林務担当者等の更なるスキルアップを目指し、開催に当たってはコロナ対策も考慮する。
- ・地域材の利用推進のため、引き続き市町村や関係機関との連携を密にして取組む。

後志総合振興局等と連携して実施